

富山新港火力発電所 L N G 2号機の建設に向けた 事前調査および設備設計の開始について

2025 年 4 月 28 日
北陸電力株式会社

当社は、富山新港火力発電所 L N G 2号機の建設計画を決定の上、事前調査および設備設計を開始することとしましたので、お知らせいたします。

当社は、供給力の確保と火力電源の低炭素化を両立する方策として、高経年化が進んでいる富山新港火力発電所石炭 2号機および休止中の 1号機（石油）を廃止し、最新鋭の高効率ガスタービン・コンバインドサイクル発電設備となる L N G 2号機を建設する計画の検討を開始するとともに、環境影響評価手続き（配慮書送付）を開始しました。

（2025年 2 月 27 日お知らせ済）

建設計画の検討開始以降、技術事項、経済性などの総合的な事業性評価を進め、このたび、富山新港火力発電所 L N G 2号機の建設計画を決定の上、事前調査および設備設計を開始することとしました。

今後、設備の詳細検討を進め、地元の皆さまおよび関係各所のご理解・ご協力を頂きながら、2033年度運開を目指して計画を進めてまいります。

なお、L N G 2号機を新設することで、当社全体として年間の C O 2 排出量を 200 万トン程度削減※することが期待できます。

当社としては、カーボンニュートラル達成に向けたロードマップに基づき、将来的に、カーボンニュートラル燃料（水素・アンモニア）等への転換や C O 2 回収・有効利用・貯留（C C U S）技術の導入等を進め、2050 年のカーボンニュートラルの実現に向け、引き続き、最大限取り組んでまいります。

※出力 60 万 kW 級の火力発電所を石炭から LNG に置き換えた場合の試算値

■富山新港火力発電所 L N G 2号機建設計画概要

所在地	富山県射水市堀江千石 1 番地
発電方式	コンバインドサイクル発電方式
出力	約 60 万 kW
使用燃料	L N G
着工時期	2029 年度（予定）
運転開始時期	2033 年度（予定）

【建設スケジュール（予定）】

年度	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
全体工程	▼環境影響評価開始					▼準備工事開始			LNG 2号機 運転開始	▼
						▼本工事着工				
環境影響評価										
準備工事										
建設工事										

【富山新港地点の発電所構成概要】

	現在		2033年度以降（予定）	
	出力	燃料	出力	燃料
石炭 1 号機	25万kW	石炭・重油	廃止	
石炭 2 号機	25万kW	石炭・重油	廃止	
1 号機	24万kW（休止）	重油・原油	廃止	
2 号機	50万kW	LNG・重油・原油	50万kW	LNG・重油・原油
LNG 1 号機	42.47万kW	LNG	42.47万kW	LNG
LNG 2 号機	—		60万kW級	LNG
合 計	142.47万kW※		約152万kW	

※休止中の 1 号機出力を除く

【事前調査・設備設計内容】

- ・ 環境調査（現況調査、予測評価等）
- ・ 設備調査（地質調査等）
- ・ 設備設計（基礎・建物・発電設備設計等）

以 上

添付資料：富山新港火力発電所 LNG 2 号機の設備配置の概要

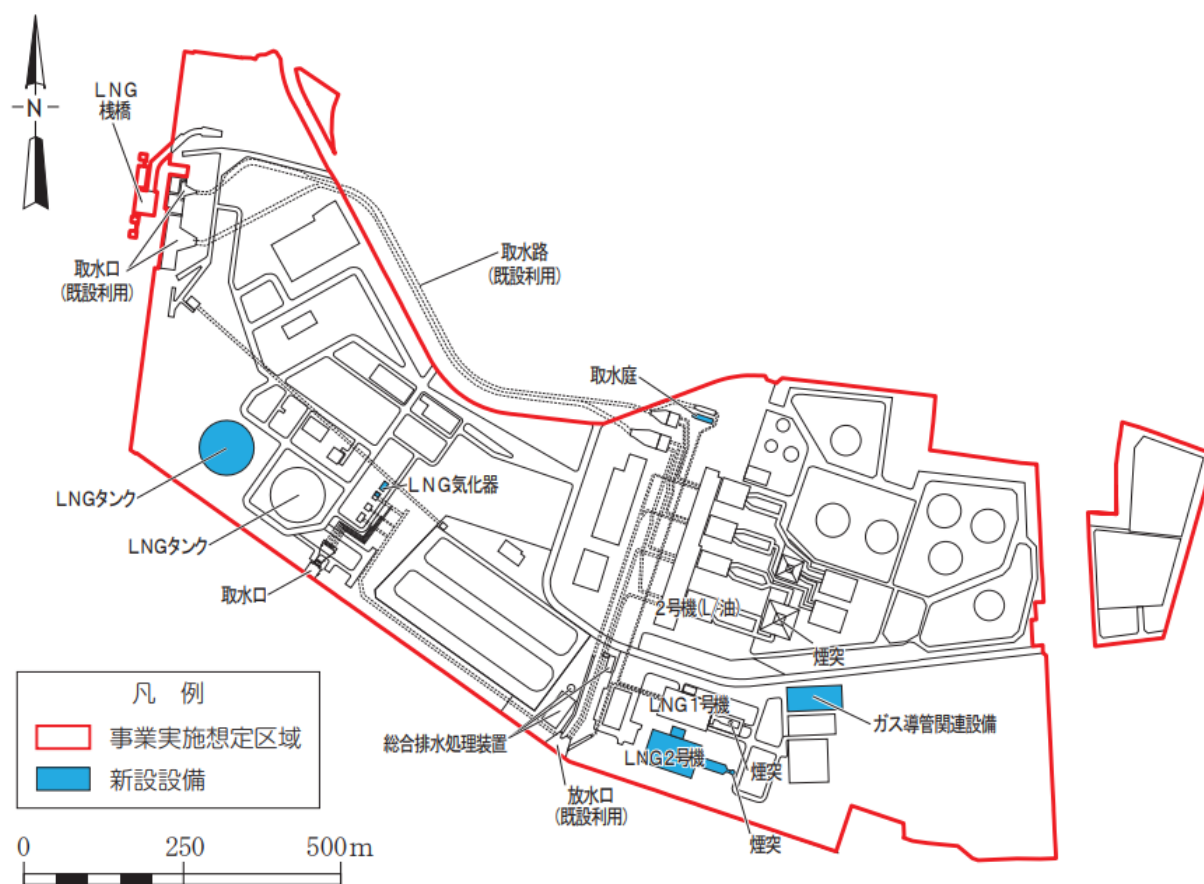
富山新港火力発電所LNG 2号機の設備配置の概要

1. イメージ図



発電用燃料は、新設のLNGタンクより供給する方法、ガス導管より供給する方法等を検討

2. 設備配置計画図



※配置計画は、今後の検討により詳細を決定します。